

第 6 回 IEEE 広島支部 学生シンポジウム  
HISS 第 1 回実行委員会議事録

日時：2004 年 6 月 12 日（土） 14:00～17:20

場所：島根県 簸川郡 斐川町青少年研修センター 研修室

出席者：

島根大学：山田、森本、中本、笹木、王、西尾、雲丹亀

山口大学：山谷、谷松、松永、黒崎、神田、友廣、安達

広島大学：吉川、平田、松村、岡庭

広島市立大学：菊池、中川

岡山大学：松島、清水、佐藤、宮本、柴田、中武、近藤、戴、田中、高品

鳥取大学：楠神、長瀬、山本

前年度実行委員：森本、勝原

教官：堀田先生、平川先生、田中先生

議事：

1. 開会

1.1 前年度委員長、副委員長より挨拶。

1.2 全員の自己紹介。

2. 第 5 回 HISS の活動報告

2.1 前実行委員長、副委員長がスライドで説明。

2.2 昨年度の反省点について説明（事前に pdf ファイルで配布）。

3. 次期実行委員長・副委員長選出

3.1 前年度委員長の司会により立候補者を募った。

3.2 立候補した島根大学の山田が委員長に決定。

3.3 選出者挨拶。

3.4 副委員長も立候補により決定。松村（広島大学）、雲丹亀（島根大学）の 2 名。

3.5 選出者挨拶。

4. メインテーマの決定（これより司会は新委員長）

4.1 メインテーマの概要説明

4.2 各大学ごとに集まり、話し合ってテーマを提案してもらった。

岡山大学

- ・社会への架け橋（前年度同様）
- ・次世代へむけて
- ・学生のさらなる挑戦

広島大学

- ・未知への歩み寄り
- ・社会の中心で学生が叫ぶ

#### 鳥取大学

- ・未知へのアプローチ~産学の融合~

#### 広島市立大学

- ・未来への挑戦

#### 山口大学

- ・現代工学世界へのいざない
- ・未来へ踏み出す一歩
- ・夢は無限大

#### 島根大学

- ・社会への挑戦
- ・地域貢献への道

- 4.3 各大学が作成したテーマを基に、各大学ごとに再度議論
- 4.4 島根大学は“地域貢献への道”を“地域貢献への道づくり”に変更。
- 4.4 最終案で多数決を採った。

#### 最終案

- ・社会への架け橋 16票
- ・地域貢献への道づくり 11票
- ・夢は無限大 3票

- 4.5 最終案を決めるにあたってサブタイトルをつけるのはどうかという意見が出て、最終案は以下の6案となった。
  - ・未来へのアプローチ~産学の融合~
  - ・社会への架け橋
  - ・ “ ~地域貢献への道づくり~
  - ・ “ + 地域貢献への道づくり以外のサブタイトル
  - ・地域貢献への道づくり
  - ・夢は無限大

最終決定は委員会終了後1週間めどに、メールで決定する。

#### 5. 会場の説明、決定

- 5.1 島根大学の委員が事前に調査した会場候補とその他候補を比較した資料を配布。  
候補地・島根県松江市 テクノアーク島根を委員会で承認。
- 5.2 会場によって企業展示が実施できない場合があるという指摘があり、会場委員の決定後、詳細な見積もりと合わせて確認することに。

#### 6. 実行委員の編成

- 6.1 前年度副委員長の勝原さんより前年度の各専門委員の仕事内容の説明
- 6.2 前年度の各委員の幹事校の人数割合についての説明。

6.3 後日、希望を取り、委員を決定する方法を実行委員全員に承諾を得た。

## 7. スケジュール案

7.1 島根大学より前年度の活動を参考にして作ったスケジュール案を配布。

7.2 詳しいスケジュール(今年度のスケジュール)は各専門委員に分かれた後に、改めて作成することを確認。

7.3 First Call For Papers(FCFP)の作成を急ぐ必要があり、HISS 開催日および論文締切日を決定する必要があることを指摘

7.4 上記の指摘を受けて、HISS 開催日と論文締切日の暫定的に決定

HISS 開催日は12月4日~5日

論文締切日は暫定的に8月13日に決定することを確認・承認した。最終論文などの締め切り日は、論文委員会の発足後、(印刷業者との兼ね合いも考慮して)詳細に検討する。

## 8. 新企画について

8.1 前年度に行われた企画を示し、今年からの新企画について「地域・社会(産学連携)」「中高生」というキーワードをもとに大学ごとに話し合ってもらい。以下のような意見が出た。

- ・ 模擬授業(広島大学)  
講義、実験を行うなど、大学の授業を体験
- ・ テクノアーク島根の施設開放(島根大学)  
最先端の実験機器の見学

8.2 2つの新企画案について次のような意見が出た。

- ・ テクノアーク島根の施設開放は見学ツアーのようにしたらどうか。
- ・ 上記意見に加えて、施設開放がどの程度までか。
- ・ 模擬授業については、学生主体の学会で教官が模擬授業を行うのはまずいのではないか。

8.3 以上を参考に詳しいことは後日、新企画委員の間で継続的に議論する。

## 9. 各大学代表者の決定

大学内での連絡・支出等を管理・担当する代表者を以下のように決定した。

広島大学：松村

岡山大学：浅野

島根大学：中本

鳥取大学：楠神

広島市立大学：中川

山口大学：松永

## 10. 閉会

以上